

加賀市学校教育ビジョン

BE THE PLAYER

自分で考え 動く 生み出す

そして社会を変える

子どもに委ねる学び 3.0

そろえる教育から

一人ひとりを伸ばす・

誰一人取り残さない教育へ

学校経営理念

子どもにとって

安心して学べ、大切にされていると実感できる学校に

教職員にとって

安心して仕事ができ、働きがいのある学校に

保護者にとって

安心して子どもを任せられる信頼できる学校に

地域にとって

安心して東谷口の未来を担う子どもたちを託せ ともに育てる学校に

教育の目的

(学校教育法 30 条②)

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと

学校教育目標

これからの時代を生き抜く、たくましい東谷口っ子の育成

～みんなが笑顔の学校をみんなでつくる みんなが笑顔の未来をみんなでつくる～

校訓

至誠・剛健・篤実

目指す児童像

考える子

主体的に学びに向かい、
自分の考えを表現できる子

思いやりのある子

自分のよさや友達のよさに気づき
自分も友達も大切にできる子

たくましい子

なりたい自分に向かって
粘り強く挑戦できる子

① 誰一人取り残さない多様な学びの実現

「わかった」「できた」⇒だから「もっと学びたい」

○学校研究の推進

「主体的な学びを通して 個の確かな力に」

○探究することの楽しさを実感できる授業

○ICTの活用

○SSR支援員との連携

② カリキュラムマネジメントの充実

「学んだことが役に立った」

「学びを通して地域の役に立った」

⇒だから「もっと学びたい」

○意識的な教科の配列・つながり

○学校での学びと地域の課題との結び付け

③ 仲間とつながるよさを実感できる授業

「みんなとしたら、もっとわかった。助かった」

○生徒指導と学校研究の連動

① 日常的な発達支持的生徒指導

○児童のよさを生かし認めつなぐ働きかけ

○生徒指導の 4 つの視点を生かした学級経営・授業づくり

② こどもまんなか学校の実現

○人権感覚の研ぎ澄まし

○すべての子どもの人権の尊重

○道徳教育と人権教育の連動

③ 特別支援教育の理解と推進

○生徒指導との連携

○確かな実態把握と児童理解→組織的対応

○特性理解の推進→個に応じた指導

④ 組織的相談体制の確立

○安心して弱音や悩みを話せる雰囲気づくり

○定期的なアンケートと面談

○校内、関係機関との連携

① やり遂げる喜びのある学級経営

○みんなが活躍できる場の設定

○挑戦する場、目標の設定

○目標達成に向けた教師の粘り強くきめ細かな支援（過程の重視）

② 自治的な集団作り

○特別活動の充実

○多様な縦割り活動

③ 自己管理・自己判断力の育成

○安全教育の推進

(生活安全・交通安全・災害安全)

自分で考え、自分で判断し、よりよい行動をとることができる児童に

教職員の活力向上

チーム東谷口

保護者・地域との連携と分担

① 「よかったね。よかったよ（白いぼうし）」

教師どうしの協働的な学び…毎週金曜日のワイガヤタイム。

児童のことや悩みを安心して話せる場に。

② 「みんなもちばをまもること（スイミー）」

教師の主体的な学び…研修観の転換。目的をもって参加し日々の実践に生かしていく。

一人ひとりが学校運営に参画。改善の意識をもち、主体的に行動。

③ 「えいやら えいやら えいやらで（三年とうげ）」

業務改善・働き方改革…子どもと向き合う時間、授業づくりの時間の創出。

① コミュニティスクールの推進…地域との連携・協働の強化

② 学校の取組の周知…行事等取組の目的・児童の成長変容を中心に

③ 課題意識・危機意識の共有…生活習慣、メディア利用、防災・安全等

④ 地域人材・地域教材を活用した授業づくり…郷土愛を育てるとともに自己有用感を味わわせる